

すみだ景観フォーラム会報 ~ 第 8 号 ~

発行元

すみだ景観フォーラム事務局（墨田区都市計画部都市計画課）
 墨田区吾妻橋 1 丁目 23 番 20 号
 電話：03-5608-6266 / FAX：03-5608-6409
 メール：TOSHIKEIKAKU@city.sumida.lg.jp
 会員数：75 名（平成 28 年 12 月末現在）



27 年度は「路地」「電柱・電線」「鉄道」の 3 つの視点からすみだの景観を考えました！

すみだ景観フォーラムでは、実行委員のメンバーが中心となって様々なイベントを開催しております。近年は年度当初にテーマを決定し、まち歩き等を通じて景観的な視点でテーマを掘り下げ、得られた知見をシンポジウムにて報告しております。

平成 27 年度は『変わりゆくすみだの景観 無くなりそうで無くない路地、電柱・電線そして鉄道』をテーマに掲げ、実行委員のメンバーを中心に街歩きや調査を行いました。1 年かけて取り組んできた成果について 2 月 27 日（土）にシンポジウムを開催し報告させていただきました。

シンポジウム当日は、すみだ景観フォーラムの会員のみならず、区内外から多くご参加いただき、会場の皆様と活発な意見交換を行うことができました。本会報では 27 年度の取り組み状況とシンポジウムの概要について紹介します。



東京十二題
雪に暮るゝ寺島村
川瀬巴水 作

実行委員の声

路地班担当 高山 登さん（すみだ景観フォーラム実行委員）より

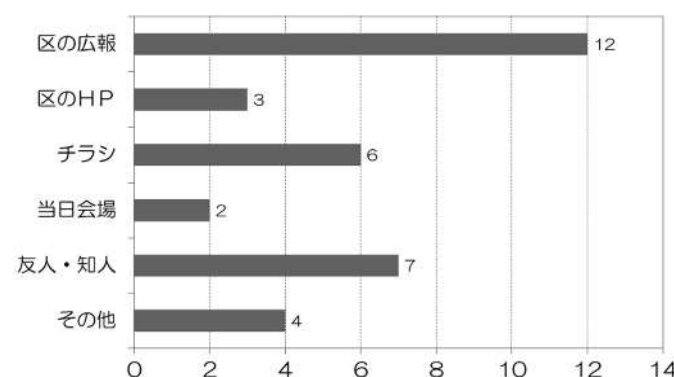
キラキラ橋銀座商店街のある京島地区の、路地の見聞調査を行いました。この界隈は戦災から奇跡的に逃れ、古くからある多くの路地で『路地網』が形成されています。また、商店街や長屋などは昭和の面影が色濃く残っております。

京島界隈は、歴史や文化、生活に育まれた表情豊かな『路地網』が今も息づいており、魅力いっぱいの生活景観の発見には驚きでした。それもスカイツリーの眼下に。あらためて知っていただきたい魅力的な路地のあるまち“京島”、残しておきたいすみだの景観でした。

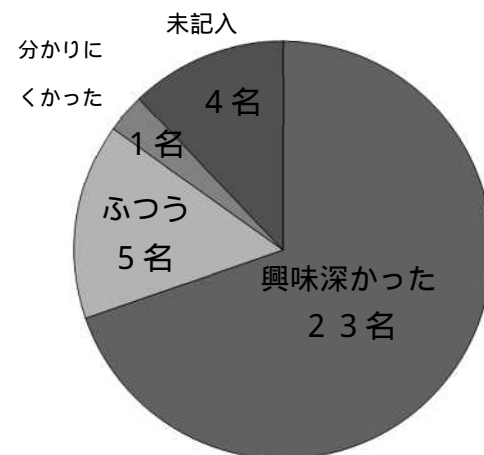
シンポジウム参加者状況	合計 59 名
1. 一般参加	29 名
2. フォーラム会員	24 名
3. その他	6 名



シンポジウム参加者アンケート（回答者数 33 名）
 イベントを何で知りましたか（複数回答）



内容はいかがでしたか



シンポジウムについての感想（抜粋）

- ・興味深い内容で素晴らしかった（70代男性）
- ・興味深い内容を具体的に説明されたパネラー諸氏の努力に敬意を表します（70代男性）
- ・美しい風景を写真に撮る際、電線が邪魔になるときがある（70代男性）
- ・電柱が地下に埋設された写真を見て、空が広く感じ気分も晴れやかになりました。（60代女性）
- ・京島の近くに住んでいるので路地を通ることが多いが、どのようにして複雑な路地ができたのか、わかって良かった。電線を地中化する前と後の風景があまりに違うので驚いた。鉄道の話は興味深くとても参考になった。（40代女性）

イベント周知活動にも力を入れて、昨年度より参加人数が増えました！

- ・シンポジウムを広く知ってもらうため、区のお知らせやHP掲載のほか、ツイッター掲載、CATV出演、チラシの配布など周知活動にも力を入れました。
- ・シンポジウムのチラシが確定した段階で企業訪問を行い、協力者（社）欄への企業名記載や社内への周知など、各企業様に大変なご協力をいただきました。ありがとうございました。

すみだ景観フォーラムとは・・・

すみだの景観について自由に話し合い、景観に関することに取り組んでいただくきっかけの場として、平成 20 年度から活動を続けております。どなたでも参加可能です。ご希望の方は事務局までご連絡ください！



27年度の取り組み状況について

■3テーマについて取り組みました!

例年は1テーマに絞って取り組んでいましたが、27年度はやってみたいテーマが多く、あえて絞り込まず、3班に分けて取り組んでみようということになりました。

テーマが複数になることで、景観的な視点を深めることができるか心配でした。また、他班の活動状況が見えず、シンポジウムでの発表にまとまりがなくなってしまうのではないかと懸念を持ちつつスタートしました。

まち歩き等のフィールドワークは各班合同参加を基本とした結果、各テーマを深く掘り下げるきっかけや共通点が見つかり、例年以上の取組みができました。

■各班の趣意書(抜粋)

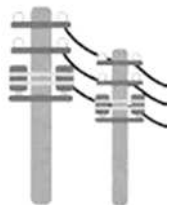


路地班

- (1) 路地の魅力考察(神楽坂、月島、京島の比較)
- (2) 京島の路地景観の探求

電柱・電線班

- (1) 電柱の実態を把握
- (2) 電柱のある景観の変化をとらえる



鉄道班

- (1) 高架前の京成線を記録する
- (2) 亀戸線の踏切のある風景、旧白鬚線の散策

■各班のフィールドワーク(抜粋)

フィールドワークは班分け関係なく全員参加としました。夏の暑い中、今しか撮れない写真を撮るためにまち歩きしました。

路地班

- ・9/8 区外調査(神楽坂、月島)
- ・10月 京島を中心にまち歩き

電柱・電線班

- ・7/22 無電柱化推進展(東京ビックサイト)参加
- ・9/13 タワービュー通りを中心にまち歩き

鉄道班

- ・7/26 京成線(押上~八広間)高架前の状況を見学
- ・8/30 亀戸線、旧白鬚線 まち歩き

(東京シティガイドクラブの方に解説いただきました)



東武亀戸線の踏切

「路地」や「電柱」の要素を持ちあわせた「踏切」の風景



京島の路地空間

車両の進入はほとんどなく鉢植えが連なっている



高架化直前の京成押上線

平成27年8月22日、押上駅~八広駅間の下り線高架切替工事実施

第8回 すみだ景観フォーラムシンポジウム(概要)

- ・シンポジウム タイトル **変わりゆくすみだの景観** 変わっていく姿を記録に残したい
無くなりそうで、無くならない 路地、電柱・電線そして鉄道
- ・開催日時
平成28年2月27日(土) 13:30~16:30
- ・コーディネーター
恵泉女学園大学講師 瀧口 雅仁 先生
- ・パネリスト(すみだ景観フォーラム実行委員)
高山 登さん、露木 尚文さん、西村 裕介さん



■各班の発表内容(抜粋)

路地班

- ・京島の路地を4つに分類した
- ・路地を歩いていると方向感覚を喪失してしまう
- ・先の見えないワクワク感がある
- ・生活の営みが溢れ出ている
- ・車のないゆったりとした生活環境
- ・昭和の面影を感じる



路地の分類(大路地)



路地の分類(極小路地)

京島の路地を大路地(~4m)、中路地(~3m)、小路地(~2m)、極小路地(~1m)の4つに分類しその魅力を紹介した

電柱・電線班

- ・電柱を意識してまちを歩くことはとても新鮮だった
- ・全国の電柱本数は増加傾向にあることを紹介
- ・電柱、電線がなくなったことによる景観の変化を紹介



両国二丁目交差点(昭和43年)



両国二丁目交差点(平成27年)

鉄道班

- ・東武亀戸線小村井駅から曳舟駅方面に向かう途中に見つけた、旧虎橋通駅、旧十間橋駅と推定される場所について紹介
- ・旧白鬚線について紹介
- ・京成曳舟の高架後の景観を紹介



旧虎橋通駅 遺構(推定)



旧十間橋通駅 遺構(推定)